



国民年金

任意加入しているサラリーマンの奥さん

『年金登録』を忘れないで

1月31日までに

国民年金に任意加入されているサラリーマンの奥さん、『国民年金任意加入被保険者現況届書』の用紙が社会保険庁から送られてきましたか。

この届書は、第二号被保険者の確認をする大切なものです。忘れないで年金登録の手続きをしてください。

今回、届け書の必要な方は、厚

お知らせ

生年金または船員保険の加入者の奥さんで、次の要件のいずれにもあてはまる人です。

- 夫が、大正十年四月一日以後に生まれた者であること。
- 夫の健康保険の被扶養者になっ

これに該当する人は、『現況届書』に所定事項を記入し、夫の勤務先で内容の確認を受けたうえ、一月三十一日までに、役場住民課

の国民年金窓口へ提出してください。(郵送でも結構です)なお、夫の勤務先で確認を受けなかった場合は、次の書類を添えて届け出てください。

- 健康保険被保険者証
- 夫の年金手帳

(住民課)

START

ご主人は民間のサラリーマンで、大正十年4月2日以後の生まれですか?

はい
あなたはご主人から扶養されていますか?

はい
あなたは国民年金に任意加入していますか?

はい
61年1月31日までに『現況届書』を役場へ提出してください

好評発売中 村史『通史編』

◆山古志村史『通史編』 頒価5,000円 (送料別) 村内1世帯1冊に限り特別価格でお頒けしています。

—既刊—
◆村史『史料編』—5,000円(2冊セット)
◆村史『民俗編』—2,500円
※申込先—役場総務課



今年1年を無火災で

1月5日

消防出ぞめ式

午前9時の半鐘、サイレンを合図に、各分団ごとに機械器具の点検や放水訓練を行います。
『消火より防火、今年一年も無火災で—』

健康相談

～日ごろから心と身体の健康管理を～

期日	会場	時間
1月23日(木)	梶金集会所	10:00~12:00
	木籠集落センター	13:30~15:00
24日(金)	大久保集落センター	10:00~12:00
	池谷集落センター	13:30~15:00

特別障害者手当制度が創設されます

国民年金法の一部改正により、六十一年四月から障害基礎年金制度が導入されます。これに伴い、成人の福祉手当が再編成され、新たに『特別障害者手当制度』が発足します。

特別障害者手当

- ▽対象—二十歳以上であって、日常生活に常時特別の介護を要する程度の在宅の重度障害者
- ▽手当額—月額二万円
- ▽施行期日—六十一年四月一日
- ▽受付開始—一月四日から役場住民課で行います。

障害児福祉手当

二十歳未満の障害児には、従来同様の手当が支給されます。

経過措置福祉手当

障害基礎年金制度の対象にならないうえ、かつ特別障害者手当の認定基準に該当しない人の場合でも、現行福祉手当の認定を六十一年三月までに受けた人には、その障害が継続する間に限って従来の手当が支給されます。

※詳しいことは住民課福祉係または社会福祉事務所へお問い合わせください。(住民課)

新年に向かかって—

虫亀でしめ縄づくり

12月22日、虫亀で、氏子有志が集まって、諏訪神社と津島様のしめ縄2本をつくりました。しめ縄の長さは2メートル。芯に竹を使った、昔からこの方法でやっているという、虫亀

特有のつくり方です。各自で秋から準備しておいた約6束分のワラやゆい、を持ち寄り、まず、竹の芯に、下がり(わらのたね下がり)の部分をつけます。そして、手でなつ

た縄を結びつけ、松、こんぶ、わらでつくったほり貝、切り下げ(紙を切ったもの)をつけて完成。3時間かかりました。少し早めですが、さっそく神社に飾りました。

「今年はわらが多かった分、ちくちくと荒めたかな」
「昔は初もつで来て、今年んがはつまんで来たかどうかわか、言ってくれたもんだが」



謹賀新年

山古志村長 酒井省吾

謹んで新春の御祝辞を申し上げ、村民皆様の御清祥を心からお慶び申し上げます。

「田畑や家屋敷の作業を充分終えていないうちに、ある日、突然に雪が来る。かねて用意はしていたものの、それにもかかわらず雪の到来はすこぶる早い。一朝にして人々はすべての手順に狂いが生じ、こと、農事にあつては決定的な齟齬をきたす。これをして土地では「雪に越される」といつた——村史民俗編で、野村先生の緒言のひとつであります。

夏の大日照り、秋の長雨と異常天候続きだった昨年。せめて雪だけは遅く、小雪であつてほしい、そんな大方の期待を裏切つて、早々と、しかも第一級の寒波を伴つて、根雪におおいつくされました。まさに「雪に越される」感が強い年の暮れでした。

昭和六十一年の初春を迎え、どうか本年がよい年でありませう、祈る気持ちでいつぱい입니다。

国、地方を問わず、行政改革、財政再建と相変わらずさびしい情勢が続いています。こうした中、村民皆様の御理解御協力のもと、

ひとつずつ懸案の事業が達成されつつあることは、誠に喜びに堪えません。昨年は、八年余の歳月と多くのの方々から御協力をいただいた村史編集事業が無事完結しました。全巻を通じてうかがい知る、先人の



暮らしぶりのたくましさ、むらづくり、人づくりにかけた情熱など、本心に頭の下がる思いがします。

また、種芋原農協と竹沢農協の合併が成り、八月一日から新しく山古志村農業協同組合として発足しました。村の産業振興に欠くことのできないものであり、これに寄せられた関係各位の御熱意に、心から敬意を表します。

十一月に行われた桂谷地区営農集団事業反

省会での、会長さんの言葉です。

「私たちは春以来、アワやマメ、アツキの種を播き、草取り、間引き、土寄せ、ころばないように縄張りなど、みんなで共同で仕事をやってきました。その中で、久しく忘れていた連帯の絆をとりもどしたと、作物は作るのはなく育てることが大切なんだと思ひ出したこと、これが何よりの収穫でした」育てる心——本場のむらづくり、人づくりも、ここから始まるのではないかと、心を打たれました。

山古志村も、昭和三十一年誕生以来、今年で満三十年を迎えます。

当時は村の中を往き來するにも足に頼るしかなかつた交通手段も、今では吹雪の日でもマイカーや定期バスが走るようになりました。学校も、保育所も、診療所も、そして村民会館も、どこにも負けない立派なものができています。わずか三十年のことです。

さらに、十年先、二十年先の明るい山古志村の未来につなげるため、自らのむらを愛し育てる心と自信を持つて、先人に恥じないようたくましくがんばりたいと思います。

村民皆様の、なおいつそうの御奮起御活躍と御健勝をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。



12月定例村議会

10件を可決

昭和六十年第四回定例村議会は、十二月十八日から二十一日までの会期で開かれました。

一般職給与条例の一部改正など十件を審議し、それぞれ原案どおり可決されました。

主な内容は次のとおりです。

条例関係

▽特別職給与条例の一部改正
冬期集落保安要員の報酬月額を四千円引き上げて十二万円としました。

▽一般職給与条例の一部改正
国家公務員の給与改正に準じ、一般職の給与を六十年七月から平均五・五七%引き上げました。

村道廃止

県道南平小平尾線の認定に伴つて、村道檜木滝之又線二、八〇〇

mを廃止しました。

補正予算

▽一般会計補正第三号
一、二八五万円を追加し、総額



は一四億三、五四二万円となりました。

- ・一般職給料、手当 七〇八万円
- ・診療所会計繰出金(二〇二万円)
- ・除雪対策費 二六〇万円
- ・災害復旧費 八九四万円
- ・子備費 六五〇万円
- いっぽう歳入は、村税二八九万円、国庫支出金六八〇万円、村債三七〇万円の追加などとなっています。

▽特別会計

国保会計一、一三〇万円、内科診療所会計(八四四万円、歯科診療所会計四四万円を補正しました。このうち、一般職給料、手当は合わせて四三万円です。



効率的な行政運営で 住みよい村づくりを

行政改革——「縮減」だけを 目的としているではありません

「効率的な行政運営を行つて、住みよい村づくりを進めるため、『行政改革大綱』を策定しました。

この大綱は、行政改革推進委員会(権沢松雄会長)から十二月九日に受けた答申に基づいたものです。

現在、村の行政環境は厳しく、また行政需用も多様化しています。このため、経費のむだを省きながら、効率的な行政運営を行わなければなりません。

行政改革は、「縮減」だけを目的としているではありません。

行政全般について見直し、村の活性化や住民サービスの向上など、健全な村政発展を旨とするものです。

村では、この大綱に基づき、村議会と連携しながら、全職員が一体となつて行政改革推進に取り組みます。村民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

――当面の措置事項――

当面の措置として、六十年度から六十二年度の三か年間に、次の

事項を実現可能なものから実施していきます。

1 事務事業の見直し

▼農業共済事業広域合併(実施済)
▼各種補助金・助成金の見直し
▼村単補助金、各種団体に対する補助金は、その性質、事業内容、期間、事業効果等を検討して適正化します。

▼使用料・手数料の見直し、改定
——受益者負担の原則と負担の公平性を考慮しながら、見直しを進めます。

▼不用な村有財産(土地・建物等)の適正な処分

▼経常的な行政経費の節減
▼内科診療所特別会計(三会計)の一本化

▼中学校寄宿舎の廃止——山古志中学校寄宿舎を六十一年度から廃止して通年スクールバス通学にするよう検討します。

▼2 組織・機構の簡素合理化
▼庁内機構の見直し——多様化、複雑化する行政事務に対応するため、効率的な組織機構づくりを行います。

▼外郭団体の自立化——各団体の健全な運営、育成を進め、行政との機能分担を適正にします。

3 定員管理の適正化

従来から村職員の欠員不補充等による減員を進めており、六十年四月現在七十五名と、全国の類似

町村と比べてもほぼ平均的な職員数となりました。今後とも、パートタイム職員の活用を図るなど、職員数の適正化に努めます。

また、職員の研修を進め、村民からより信頼される職員となるよう努めます。

4 民間委託、OA化の推進

し尿処理業務、道路除雪業務、スクールバス・学校給食車・患者輸送車等の運転業務などは、民間委託するよう検討します。

現在、役場にワープロが一台入っていますが、この活用を進めます。また、今年から交通災害共済の加入申込書作成業務を電算委託するなど、電算化を進め、事務能率を向上させます。

5 その他

学校統合については、総合計画でもあげられていますが、引き続き検討を進めます。とくに「中学校の統合については、具体的な方向づけが急務」として

います。また、保育所と診療所についても、適正な配置が課題とされました。

青年農業士としてヨーロッパ研修へ

おじいちゃんもす 55

「農業の土台は土地、しかしおれは
じじいのやり方でやっていくんだ」

関 正史さん 梶金

十月二十五日から十一月十日まで、第九回新潟県青年農業士海外研修団に正史さん(三十二歳)が参加し、ヨーロッパを回りました。県内の若い農業の担い手十七人が、十七日間、EC諸国の農業事情を見て来たものです。

由、ロンドンへ。翌朝五時過ぎに着くというのですが、時差の関係で、飛行機は十七時間かかりました。「降下したときの耳の痛み。それにくつをはこうと思ったら、足がむくんで入らない。」

時朝食というので急いでレストランに行ったら、まだ静まりかえっていた——なんと、当日は夏時間から冬時間への切り替えの日、

へ向かいました。

「五日間のホームステイ(農家での実地研修)がいちばん。あとは正直言って観光旅行が半分のようだった」という正史さん。海外研修の様子を聞いてみました。

「五日間のホームステイ(農家での実地研修)がいちばん。あとは正直言って観光旅行が半分のようだった」という正史さん。海外研修の様子を聞いてみました。



関 正史さん—毎日朝晩3時間ずつかかって、60頭の肉牛を肥育している。54年、青年農業士に

ロンドンに着陸。午前中、二か所の市場を視察し、「相対取引で、なすやきゅうりはものすごく大きくて日本なら規格外品。ただ、包装には金をかけてはいなかった」と。

その後、市内巡り。バッキンガム宮殿、セントポール寺院、ウィンザー城などを見ました。

10月26日 朝五時

その後、市内巡り。バッキンガム宮殿、セントポール寺院、ウィンザー城などを見ました。

その後、市内巡り。バッキンガム宮殿、セントポール寺院、ウィンザー城などを見ました。

10月27日

「六時起床、七

州立農業専用校を訪れた後、バイワを視察。日本の農協にあたりませんが、金融はなし、「日本の農協は利潤の追求が激しいが、こっちは農家のためにやっている、と言っていた」と。

10月28日

州立農業専用校を訪れた後、バイワを視察。日本の農協にあたりませんが、金融はなし、「日本の農協は利潤の追求が激しいが、こっちは農家のためにやっている、と言っていた」と。

「言葉のやりとりは英語。英語をしゃべられるかと聞かれ、おれは『全然』、たしよ(佐藤さん)は『少し』。これがよかった。思ったより話も通じたし、毎日の生活に不便はなかった。そのうち、むしろおれの方がよく通じたんじゃないかな。楽しくてしかなかったし、人種は違ってもみんな同じとすなおに思った」

17時間かかるとのヨーロッパ研修の様子

10月30日~11月3日

五日間のホームステイに入りました。

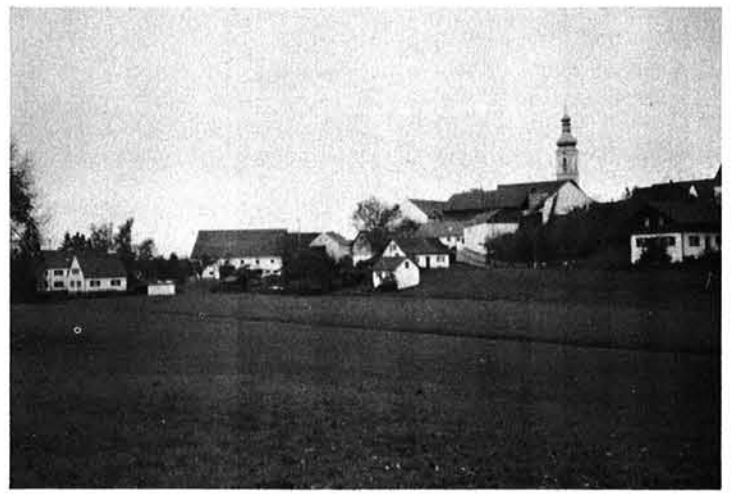
ベック家は、ご主人(五十八歳)、奥さん(五十八歳)、おばあちゃん(八十七歳)、長男ギヨルグ(二十五歳)、長女アニータ(二十四歳)、次女ローズビター(二十一歳)の

六人家族です。農業は、ご主人と奥さん、長男の三人でやっています。アニータは農業専用校に通って勉強中。ローズビターは会社に勤めており、今回正史さんたちの案内をしてくれました。



ベック家の人たちと——左から長女アニータ、奥さん、長男ギヨルグ、正史さん、次女ローズビター、おばあちゃん。ご主人はちょうど外出中

作物が大半で、このほか小麦、ビール麦を少々。『飼料の自給率は九五%以上。買うのは脱脂大豆(一日十五キロ)、カルシウム、保育ミルクくらい。土地を土台とした自給が実にしっかりしている。土地を大切に。土地を大切にして肥やし、土地の広さと作物の出来で、飼う牛の数も自然と決まる。』セキは六十頭飼っているというが、どのくらい土地があるのかと聞かれたので、「一ヘクタール」と答えた。主人も、息子も、娘も、不思議そうな顔をしたので、「トウモロコシも麦も、オールアメリカン……みんな笑ってうなずいた。長い歴史の中で育ってきた畜産と、決定的な違いを感じたね」朝六時と夕方五時に搾乳、えさくれ、日中は牧草刈りや牛舎内外の仕事などをします。機械を能率的に使用しており、トラクターだけで四台、ワンタッチで取りはずしできるアタッチメントも豊富。ま



ドイツの農村。ベック家は教会の下にある

た、「よく働き、牛舎や倉庫など、どの場所もよく整とんざれていた」と。ところで、肉の出荷価格は、日本の八割くらい。「ECは日本の約七割と聞いていたので、思ったより高かった。乳製品を日本にもっと買ってくれと言っていた」

「生活には、さきはない。買って来た物は以外と少ないしね」といいます。ガスは入っていますがコーヒを沸かすくらいで、あとはほとんどまき。セントラルヒーティングはまき兼用。ケーキは手づくり、日本のような茶菓子もありません。車庫は自分で建てたそうです。テレビはほとんど見ませんでした。

11月3日

「ベック家ときよならの日。温かく迎えてくれ、このすばらしい体験をさせてくれた人たち——もし許されるなら、後の日程をキャンセルして帰国までこの家にいた(涙のページへつづく)」

教書の鐘の音と始まる毎日の生活

日常の生活は、教会の鐘の音とともに始まり、そして終わります。「食事はおいしく、奥さんがセキもって食べれ」と勧めてくれる



ダンスパーティー

十二月十五日、村民会館でダンスパーティーが開かれ、四十人あまりが参加しました。

皆さん正装して、練習の成果を発揮し、スムーズにステップを踏んでいます。最初はカラオケに合わせておどりました。途中、講師の田崎夫妻が模範演技すると、「ほっ」のため息。積極的にパートナーを見つけ、ダンスを楽しんでいました。



ベック家の牛舎で牛の世話をする

いと、本当に思った。昼すぎ、アニーとローズビターが送ってくれ、握手とほおずりした時は涙が出てしまった。最後まで「手紙をちょうだい」と言っていた(現在、その手紙を書くのに言葉がよくわからず四苦八苦し

相場のついで米を出荷

大規模の稲作農家を視察。稲六十ヘクタール、乳牛三百五十頭を経営しています。

稲作は、種もみを直播きするほかは日本と同じやり方。十アール当たり六百キロの収量で、もみのまま出荷します。

相場をみながら、一年間かけて出荷しており、「資金力があって貯蔵施設のある所が高く売ることができる」とのことです。「米はEC内ではけるが、値段は上がらないし機械にかかる。酪農のほうがもうかる」と言っていた。

11月5日 空路 オランダのアムステルダムに到着。市内見学。

11月6日 花市場 酪農実験場 花木試験場を視察しました。

11月7日 国際列車でフランスへ。午後パリに着いて市内見学、モンマルトルの丘のぼりしました。夜はリドのショーへ。

11月8日 ベルサイユ宮殿見

学。フランス最大の中央市場を視察。その後、フランスの街を歩きましたが、「日本の新婚カップルがやたら目についた」とのことです。

11月9日、10日 パリからアムステルダム経由で帰国。十日午後四時過ぎに成田に着きました。

「今回の研修は、おれの『度胸だめし』でした。ヨーロッパまで行ってみて、自分に自信をつけてこよう」と……。

むこうへ行って、いちばん痛切に感じたことは、農業の土台は土地だ、ということ。すこく土地を大切に肥やしており、転作で土地をぶちやわっている日本は、ますます差をつけられそうです。



イギリス国会議事堂の前で

でも、今回の体験は、そのうち必ず役に立つはず。研修を指導してくれた県・役場などの関係機関の皆さん、留守中に牛の世話をしてくれた藤井保さん、川上正春さん、肥育組合のメンバー、その他お世話になった皆さんに感謝しています。

根羽あいの赤い羽根共同募金 募金にご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金 募金額 六九七、〇〇〇円 (目標 五一七、〇〇〇円)

― 県共同募金会に集められ、社会福祉施設の充実や、村社会福祉協議会に還元されて村の福祉活動推進などに使われます。

●歳末たすけあい運動 募金額 三二八、三三三元 (目標 二七八、〇〇〇円)

― ねたきり老人や在宅重度障害者、福祉施設入所者などに届けました。

枝肉共進会

六十年度の牛の共進会は、十一月七日、東京芝浦の食肉市場に出荷し、枝肉で飼育成果を競いました。十八頭が出品され、入賞者は次のとおりです。

- ◆最優秀賞 上田鉄五郎(木籠)
- ◆優秀賞 畔上 完二(檜木)
- ◆優良賞 青木 文博(池谷)
- 田中藤十郎(虫亀)
- 斎藤 利行(池谷)
- 青木 行雄(〃)

新春カラオケ大会

1月19日(日) 午後1時～4時 村民会館大ホール

※11月5日の講演会で好評を博した大倉修吾さんが、今度は歌手としてやって来ます。飲んで、歌って、楽しいひとときを過ごしてください。

※マイクロバスで送迎します。

- ▷前売券-3,000円 当日4,000円 (未婚女性1,500円で優待)
- ▷申し込み、問い合わせ-村商工会または商工会青年部員へ
- ▷主催-村商工会青年部

スキー教室

(バッチテスト)

スキー教室を開きます。能力別に班をつくって指導しますので、

■期日、会場 (各日とも日曜日) 1月5日、26日、3月2日 二丁野焼山スキー場 種芋原スキー場

■日程 1月12日、2月2日 種芋原スキー場

■その他 スキー用具、着替え等は各自ご用意ください。 種芋原スキー場はロフトウ使用料、またバッチテストを受ける方は受験料等が必要です。

第18回全日本錦鯉品評会

1月25日(土)、26日(日) 東京流通センター (東京都大田区平和島)

●出品申し込みは一月十日までです。申し込み、搬入出は漁協でも取り扱います。多数出品してください。

歯科診療所から 歯の治療はお早めに

村歯科診療所では、診療がスムーズに進んでいます。現在、予約していただいで早く診療できる状態です。 春先からはまた混み合うことが予想されますので、受診希望者は、早めに申し込みください。